

第1回地域委員会における委員からの主な意見と対応状況

委員会	該当政策	委員意見	対応状況
<全般、総論などに関するご意見>			
1	新川① 全般	この計画は大変整っていて、過不足ない大変いい仕上がりであるため、アンビシャスなイメージが全くない。例えば未成年の交通事故死をゼロにするというアンビシャスな計画を盛り込めば、かえって県民が注目して、個々の具体的な施策に形を変えたときに、また力が入るのではないか。	各政策の答申検討案の中には、「健康寿命日本一」（安心5）など若干突出した表現も使用しているところであるが、委員ご指摘の趣旨を踏まえ、県民に関心を持っていただくとともに、富山県の目指すべき将来像を県民と県が共有する計画となるよう努めてまいりたい。また、計画の周知にも工夫してまいりたい。
2	新川① 全般	県と市町村の役割分担をもう少し分かりやすくした方がお互いに連携が取れるのではないかと思うので、県と市町村の役割分担について、市町村側と詳細に協議する場があればいい。	答申検討案では、各政策の政策目標の達成に向けて、県以外の各主体に期待する役割について、「県民等に期待する主な役割」として記載し、その中で市町村に期待する主な役割についても記載している。明確に役割分担を記載することは難しいと思われるが、具体の施策の推進に当たっては、市町村の意見を十分聞きながら、さらに連携・協力を深め、政策目標の達成に向けて取り組んでまいりたい。
3	新川① 地域別	今までは県内4広域圏ということで整理されてきたが、少し細かくなりすぎているのではないか。県内の地域の区分について、あまりにもバランスよくなり過ぎると全体が弱くなってしまうことも十分考えられる。もう少し四つの広域圏にこだわることなく、富山県としてどうするべきかというのをしっかり考えていただければありがたい。	「地域別の特性と取組み」の総論部分（資料1の1ページ目）に記載しているとおり、地域区分については、現行計画と同様に、県内を日常生活圏や行政サービスの提供単位として定着している4つの地域に分けて掲載しているが、具体的な事業の実施にあたっては、それぞれの地域を越えて取り組むことが必要な場合もあることから、地域区分については、柔軟に捉えることとしている。
4	新川① 全般	総合計画については、数値目標の設定をぜひお願いしたい。	答申検討案では、政策目標を具体的にイメージするための参考となる指標の候補（県民参考指標候補案）を記載しているところである。 政策目標の達成状況の検証にあたっては、これらの指標や定性的な実績をもとに、総合的に検証することとしている。
5	新川① 全般	総合計画の策定に当たり、農業の生産者の声を聞く場を設けていただきたい。	（全体会議である）県総合計画審議会にはJA富山中央会会長に、また、活力部会と新川地域委員会の専門委員として、農業関係団体の代表の方に委員を委嘱しているほか、青年委員会では、2名の生産者の方に委員に就任いただいております。また、審議会・部会や委員会の場でご意見・ご提言をいただいております。 また、県内4地域でタウンミーティングを開催するとともに、（2回にわたり）パブリックコメントを実施するなど、農業分野を問わず幅広い分野からご意見をうかがっているところである。
<活力分野に関するご意見>			
【展開目標1】グローバル競争を勝ち抜く力強い産業の育成と雇用の確保			
6	新川① 活力8	高齢者が増加し、まちなかにお店がなくなってしまい、しかも交通手段もなくなかなか買い物にも行けないという方（買い物難民）が、これからますます増えてくるのではないかと。商店街の復活はまず無理なので、違う切り口で解決する方法があれば、県の支援をお願いしたい。	活力8の【主な施策】の「3 新たなニーズ・課題に対応した商業・サービス業の振興」において、「買い物支援の在り方の検討、継続性・採算性のある事業の確立の支援」等を記載。また、個別の取組みについては、今後検討してまいりたい。
7	新川① 活力6	後継者がいなくて廃業される主に商店の方が多い。必要な対策をぜひ県の方でも考えていただきたい。	活力6の【主な施策】の「4 人材の育成と確保への支援」において、「後継者人材バンクを活用した後継者不在の中小企業とのマッチング支援」を記載。創業を志す人の創業実現と、後継者不足に悩む商店の後継者対策の両面での効果を期待している。

	委員会	該当政策	委員意見	対応状況
8	新川①	活力3 活力6	県のものづくり企業を側面的に支援する研究機関等の施設の多くは、県西部に立地している。中小企業施設の活用が西高東低となっている現実を踏まえ、県東部においても中小・小規模企業が試作品等を製作する上で必要となる工作機械などの設置が望まれる。	活力3の【主な施策】の1において、「県内企業に対する巡回指導の強化」について記載。 なお、新川地区の企業に対する技術支援として、富山県工業技術センター、富山県総合デザインセンターが新川地区に相談窓口を設置し、新川地区の企業からの相談に対応している。また、工業技術センター職員が企業を訪問し技術指導を行う、巡回技術指導を実施しており、県西部に拠点を置きつつも、新川地区を含めた県内全域の企業に対する技術支援ができる体制を整えている。
9	新川①	活力8	中心市街地における事業承継は喫緊の課題となっている。商店街のプロフェッショナル体験モデル事業のような事業承継とUターンを実現する取組みの継続的な実施をお願いしたい。	活力8の【主な施策】の「2 魅力ある商店街づくりと人材の育成支援」において、委員ご指摘の商店街プロフェッショナル体験モデル事業のように「後継者問題等の課題解決に向けた商店街の新たな取り組みに対する支援」を記載。また、各商店街での継続的な取組みについては、既存の商店街向け制度で支援してまいりたい。
10	新川①	活力6	県の農商工連携ファンド事業は、本年が最終年度となっているが、農商工連携は農業の経営力を向上させるだけでなく、商工業者に新たなビジネスの芽を生むものであり、産業として裾野が広がることから、県ファンド事業のような支援策の継続をお願いしたい。	農商工連携ファンドについては、平成30年度末で現在のファンドの期間が終了することとなるが、金利の状況を見極めながら、ファンドの継続等について検討してまいりたい。
11	新川①	活力3 活力6	稼働率が低くなかなか中小企業の方では買えない検査装置や開発に関するような機器を使えるような環境が新川地区に全くないことを、これから先の中小企業の成長の中でぜひ考えていただきたい。	活力3の【主な施策】の1に、県内企業に対する巡回指導の強化と、産学官共同研究の促進について記載。 なお、新川地区の企業に対する技術支援として、富山県工業技術センターが相談窓口の設置、工業技術センター職員による巡回技術指導を実施している。 また、新川地区に限らず県内中小企業向けに、大学や公設試験研究機関の設備・技術ノウハウを活用した産学官連携研究を支援する取り組みを行っており、機器が不十分な中小企業が新製品の研究開発を行うための支援を行っている。
12	新川①	活力6	中小企業で新しい事業を興す場合の、販路、商売、普及について、スピード感あるいろいろな公的な支援があるとよい。また、どのようにそういうものを相談したらいいのかという機会があればありがたい。今も決して悪いわけではないが、われわれの体力に合ったような支援を頂ける形であればさらに良いと思う。	活力6の【取組みの基本方向】や【主な施策】の「1 中小・小規模企業への支援体制の充実・強化」で記載している国のよろず支援拠点や県の中小企業支援センターでは、ワンストップ相談窓口を開設しており、起業、販路開拓、経営相談など様々な相談に対応しているので、まずは気軽に相談していただきたい。
【展開目標2】生産性・付加価値の高い農林水産業の振興				
13	新川①	活力15	地産地消で魚を使った食べ物を広めることをやってみたらどうか。	活力15の【主な施策】の「3 『富山のさかな』のブランド化と販路拡大」において、県産魚による魚食普及の取り組みについて記載。 地産地消については、現在も県民や高校生等を対象としたおさかな料理セミナーの開催や県内小学校の学校給食への県産魚提供等に取り組んでいるが、今後も効果的な施策の推進に努めてまいりたい。
14	新川①	活力12	農業をやっていない土地の所有者がなぜ土地改良事業の負担金を払わなければならないのかということが、今後の農業インフラの更新に当たっての大きな問題になる。農業インフラの更新時期が来ていることから、その辺の制度の見直し等を強く国に言っていただきたい。	現在、土地改良制度の見直しが進められており、土地改良事業の参加資格等の土地改良区の在り方については、国において引き続き検討されている。 土地改良事業の負担金（特別賦課金）の徴収者の選択制など土地改良区の組合員資格について、所有者と耕作者双方の意見を反映できる等の柔軟な制度に見直すよう国に要望しているところである。

委員会	該当政策	委員意見	対応状況
【展開目標 3】 環日本海・アジア新時代に向けた陸・海・空の交通基盤等の強化			
15	新川 ①	活力17 (安心25)	<p>大切なのは黒部宇奈月温泉駅からの二次交通であり、あいの風、地鉄、バス、タクシーを含めて、どうやって黒部宇奈月温泉駅を活かした広域観光を組み立てるかということがとても大事。より大勢の関係者で10年後の交通圏というものを考えるようにしていただきたい。</p> <p>活力17の【主な施策】の4において、「新幹線駅と観光地やあいの風とやま鉄道駅を結ぶバス等の運行支援」を記載するとともに、「地域別の特性と取組み」の活力とやまにおいても、「黒部宇奈月温泉駅を核とした地域公共交通ネットワークの充実(富山地方鉄道、新幹線アクセス路線バス、あいの風とやま鉄道等)」などを記載しており、広域観光の拠点として、黒部宇奈月温泉駅の利便性が向上するよう取り組んでまいりたい。</p> <p>また、10年後の交通圏については、安心25の【主な施策】の1に記載している「富山県地域交通活性化推進会議」などにおいて、関係者の幅広い協議を推進してまいりたい。</p>
【展開目標 4】 観光振興と魅力あるまちづくり			
16	新川 ①	活力23	<p>新川地域の2市2町が連携した広域観光をもっと発展的にやるための取組みについて、アドバイス・支援をいただきたい。</p> <p>活力23の【取組みの基本方向】において、富山県DMOである(公社)とやま観光推進機構と連携し、魅力的な観光地域づくりを推進していく旨を記載。行政・商工団体・観光団体等で構成されている(一社)富山湾・黒部峡谷・越中にかわ観光圏協議会等とも連携しながら、観光商品化、情報発信等に向けて取り組んでまいりたい。</p>
17	新川 ①	活力23	<p>まだまだ地域にある資源が十分に活用されておらず、もっとブラッシュアップしていくことが大事であり、富山県にある地域資源を活かして、世界中から観光客をお呼びすることができるのではないかな。</p> <p>活力23の【取組みの基本方向】において、本県でしか体験できない様々なメニューを強化するなど、本県ならではの観光資源の掘り起こし・磨き上げを通じた富山らしい魅力を創出していく旨を記載するとともに、「地域別の特性と取組み」の活力とやまにおいても、「滞在・体験型観光の推進(立山黒部の滞在プログラムの充実、国際観光インターンシップ学生の受入れ、アルミ加工、ファスニング等の地域産業の見学やものづくり体験などの産業観光、グリーンツーリズム等)」を記載している。今後も、本県の地域資源を活かした観光誘客に取り組んでまいりたい。</p>
18	新川 ①	活力23	<p>観光案内において、スマホでいろいろなものが簡単に分かるように整えていくことが大事。</p> <p>活力23の【主な施策】の「4 戦略的なプロモーション」において、「ターゲットの特性に応じた媒体選定による効果的な情報発信」や「Wi-Fi環境の整備」を記載。今後も、観光情報のスマホ版の充実やスマホの利便性向上に取り組んでまいりたい。</p>
19	新川 ①	活力23	<p>観光の面では、これからは今までスポットの当たらなかった面である冬、それから夜間をどう売り込んでいくかということが、これからの勝負になる。</p> <p>活力23の【主な施策】の「3 富山らしい魅力の創出」において、「雪景色・イルミネーション等の観光資源化など冬季の魅力創出や天候や季節に左右されない屋内型施設等を活用した通年観光の促進」を記載。本県ならではの観光資源の掘り起こし・磨き上げに引き続き取り組んでまいりたい。</p>
<未来分野に関するご意見>			
【展開目標 1】 結婚・出産・子育ての願いがかなう環境づくり			
20	新川 ①	未来2 未来3	<p>もう少し子どもを産み育てやすい環境が必要。また、仕事のしやすい住みやすい環境をつくっていただきたい。</p> <p>未来2において積極的な子育て支援を掲げており、【主な施策】に記載の施策を推進することで、安心して子どもを産み育てられる環境の整備に取り組んでまいりたい。</p> <p>また、未来3の【主な施策】の「1 仕事と子育てが両立できる職場環境の整備」において記載しているとおり、事業所内保育施設の設置・運営に係る助成や多様な勤務形態の導入、職場の意識啓発など働きやすい職場環境づくりに今後も取り組んでまいりたい。</p>

委員会	該当政策	委員意見	対応状況
【展開目標2】 真の人間力を育む学校教育の振興と家庭・地域の教育力の向上			
21	新川①	未来6	<p>今後10年間を見据えた計画とするためには、現在、県が進めようとしている県立高校の後期再編問題について言及せざるを得ない。地域の特性と課題を議論していく上で、連携中枢都市圏、広域連携などさまざまな課題もあるが、県立高校再編が与える影響の大きさというものを念頭に置くべきである。</p> <p>県立高校の再編については、本年9月の総合教育会議において「県立高校再編の基本方針」が定められ、高校教育充実に努める一環として、引き続き中学生諸君に幅広い選択肢を確保するため、県立高校の再編統合を進めることとされているところであり、「地域別の特性と取組み」の未来とやまにおいても、「学習活動や学校行事、部活動において高校教育を充実する県立高校の再編の推進」、「地域のニーズ等を勘案し、市町村の意向等を十分考慮しながら、再編高校の跡地利用の検討」について記載している。</p> <p>こうした課題も含めて、この10年間の社会情勢の変化も見通して、総合計画を策定してまいりたい。</p>
22	新川①	未来9	<p>人材の確保のためにも、富山にいうちに富山を好きになるような教育が何かできないか。例えば、今は14歳の挑戦やインターンシップがあるが、ごく一部の企業を知っていただくのではなく、もっといろいろなことを知っていただくことが必要。</p> <p>未来9の【取組みの基本方向】において、職業観や勤労観、確かな学力を身につけるための教育の推進について記載している。</p> <p>今後とも、児童生徒の発達段階に応じ、働く意義や根気強く仕事をする大切さ、富山のものづくりのすばらしさ等を、組織的・体系的に指導するなど、キャリア教育を一層充実してまいりたい。</p>
23	新川①	未来6	<p>県外からやってきた方がその家族や子どもたちを連れてきたいと思う教育環境を新川地区にどうやって整えていくのかということ、10年後を考えて何かやるべきではないか。</p> <p>未来6において、少人数教育の実施や、小学校専科教員、ALTの活用、海外留学、国際交流、ものづくり学、ICTを効果的に活用した授業など特徴ある教育環境の整備を記載している。今後とも、富山ならではの質の高い教育を行っていくための特色ある教育や環境整備である「富山スタンダード」を推進してまいりたい。</p>
24	新川①	未来14	<p>子どものときから郷土愛、ふるさと愛の教育をしっかりとしてほしい。</p> <p>未来14の【主な施策】の2において、「子どもたちが家族と一緒に地域の人々と交流しながら参加するふるさとの学びや身近な自然体験活動の推進」を記載するとともに、「地域別の特性と取組み」の未来とやまにおいても、「地域におけるふるさとへの誇りと愛着を育むふるさと学習の振興」を記載しており、ふるさと富山に誇りと愛着を持つ人材育成に努めてまいりたい。</p>
25	新川①	未来9	<p>今、ICT教育やプログラミング教育を新学習指導要領で打ち出しているが、なかなか財源が厳しいので、ぜひ国の方にそういったアプローチを一緒にやるというスタンスを取ってほしい。</p> <p>未来9の【主な施策】の「1 確かな学力の育成」において、「児童生徒の主体的で深い学びを促すICTを効果的に活用した授業の推進」について記載している。</p> <p>今後も引き続き、国に対して、時代に即応した情報機器の充実、整備等を働きかけてまいりたい。また、市町村教育委員会と連携しながら、ICT教育環境の整備や教員のICT活用指導能力の向上等、ICTを活用した教育がさらに充実するよう努めてまいりたい。</p>
【展開目標3】 文化・スポーツの振興と多彩な県民活動の推進			
26	新川①	未来16	<p>新川文化ホール(ミラージュホール)では毎年、全国の高校の吹奏楽部が来て素晴らしい演奏をしているが、それが今、高校生の吹奏楽部のステータスとなり、文化ホールに行きたいということで皆さん頑張っているようなので、ぜひ続けていただきたい。</p> <p>未来16の【主な施策】の「4 文化の次世代の担い手の育成」において、「次世代を担う子ども・青少年の文化活動の充実」を記載。</p> <p>新川文化ホールの文化事業として、平成26年度より、毎年、全国トップレベルの高校吹奏楽部を招き公演しているものであり、引き続き、青少年の文化活動の充実に努めてまいりたい。</p>
【展開目標4】 ふるさとの魅力を活かした地域づくり			
27	新川①	未来26	<p>世界中から人が訪れるヨーロッパの美しい農村のように、町や村の建物の外壁ができれば白になればいいと思う。美しい新川、美しい富山県をつくっていければ、「このような富山県に住みたい」と思うのではないかな。</p> <p>地域の景観をより良くしていくためには、住民が中心となり、その地域の景観をどのようにしていくかを自ら考え、取り組んでいくことが重要と考えている。</p> <p>その取り組みに対して、「景観づくり住民協定」の制度を設け、支援を行っているところである。</p> <p>ご意見の趣旨については、地域の景観への支援として、未来26の【主な施策】の「3 県民参加の景観づくり活動への支援」において記載しており、引き続き、「景観づくり住民協定」の締結を促進することにより、地域の個性を活かした景観づくりに努めてまいりたい。</p>

委員会	該当政策	委員意見	対応状況
【その他未来分野全般に関する意見】			
28	新川①	未来全般	<p>ぜひ全ての子どもたちが高校生になるまで、授業料や給食、医療費が無償化されることを実現していただきたい。</p> <p>未来4の【主な施策】の4に記載のとおり、高校生については、就学支援金や奨学のための給付金の支給により、授業料及び授業料以外の教育費の負担軽減を図っている。</p> <p>学校給食費は、学校給食法により保護者が負担することとされているが、経済的理由により就学困難と認められる場合は、「生活保護制度」による教育扶助のほか、学校教育法による「就学援助制度」により、実質的な保護者負担がないよう措置されている。</p> <p>その他、学校給食の実施主体である市町村が、市町村独自に学校給食費の保護者負担を軽減する制度を設けている場合がある。</p> <p>本県の乳幼児医療費助成については、県は基盤的な制度を維持することとして、入院は未就学児まで、通院は3歳児までとする枠組みとしている。</p> <p>この制度のあり方を検討した当時、医療費助成の対象年齢の拡大を図ることについては、市町村によって考え方に差異があったことから、対象年齢の拡大については、各市町村の判断で実施することとした。</p> <p>県としては、県と市町村がそれぞれの役割分担に基づいて子育て支援施策を充実し、子育ての負担軽減を図ることが重要であると考えており、引き続き子育てしやすい環境の整備に取り組んでまいりたい。</p>
<安心分野に関するご意見>			
【展開目標1】いのちを守る医療の充実と健康寿命日本一			
29	新川①	安心5	<p>県として、全体的に健康寿命の推進に対して何か政策があれば進めていただきたい。</p> <p>安心5の【主な施策】の「1 健康寿命日本一に向けた機運の醸成」「2 生活習慣の改善」などにおいて、「健康寿命の推進に向けた取組み(施策)」を記載している。</p>
30	新川①	安心5	<p>この計画の中で、健康寿命を1歳延ばす、2歳延ばすといった具体的な数値を挙げて、取組みをしっかりとやっていただいた方がいいのではないかと考えている。</p> <p>安心5において、県民参考指標候補案として「健康寿命」を掲げており、今後具体的な数値の設定を含め検討することとしている。</p>
【展開目標3】環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県」づくり			
31	新川①	安心19	<p>包蔵水力、地熱エネルギーなど再生可能エネルギーとしての資源が豊富な所であるメリットを磨いていって、日本最先端ではなく、世界最先端の再生可能エネルギー活用地域になるよう取り組んでいただきたい。</p> <p>世界最先端について、目に見える形での記載は難しいと考えているが、「地域別の特性と取組み」の安心とやまにおいて、「再生可能エネルギーの導入促進」について記載しており、豊富な包蔵水力や地熱資源など本県の地域特性を活かしながら、県民、事業者、行政が一体となって、再生可能エネルギーの導入推進に取り組んでまいりたい。</p>
【展開目標4】災害に強く、「日本一安全・安心な県」づくり			
32	新川①	安心25	<p>鉄道からバスに乗り換えるときに、すごく時間が空いたりするなど、公共交通の連結が悪いので改善する必要がある。</p> <p>安心25の【主な施策】の1において、「交通機関相互の接続利便性の向上に向けた交通事業者間の連携協力の推進」を記載している。今後とも、接続ダイヤ等利用者の目線に立った改善策の検討を進めてまいりたい。</p>
33	新川①	安心26	<p>空き家が大変多くなっている。空き家をきれいにして、他の県の方などに貸し出して、それが良ければ富山県に住んでいただくという対策なども考えていただければよい。</p> <p>空き家の利活用については、安心26の【主な施策】の「2 地域の特性に応じた良質で快適な住環境の整備」に記載するとともに、未来24の【主な施策】の「5 地域における移住者受入れ体制の強化」においても空き家の活用を支援することとしている。</p> <p>総合的な空き家の利活用を進めていく中で、県では空き家改修支援事業や移住者受入支援施設の整備事業等を行うとともに、移住希望者に対して、「富山くらしごと支援センター」における首都圏等への空き家情報の提供や、県の移住促進サイト「くらしたい国、富山」において、市町村が運営する空き家情報バンクの情報提供を行っているが、引き続き取り組みを進めてまいりたい。</p>

	委員会	該当政策	委員意見	対応状況
34	新川 ①	安心25	免許返納された方に電車・バスの運賃を半額にする制度の取組みを始めることとしているが、利用者の負担分について、うまく行政で補助していただくと、もっと効果的に利用していただけるのではないかと。	高齢者の免許返納後の生活の足の確保は重要であり、県内すべての市町村のほか、一部の交通事業者では免許返納者への特典の付与を行っている。県では民間事業者や市町村が運行する路線バスの欠損補助や低床車両導入に対する補助のほか、デマンド交通など地域の実情に応じた交通サービスに転換する際の支援などを行っており、高齢者などの生活の足の確保に努めている。今後とも関係団体等と連携し、地域交通ネットワークの確保・充実に取り組んでまいりたい。

<人づくり分野に関するご意見>

【テーマ3】女性の活躍とチャレンジへの支援

35	新川 ①	人づくり7 ~9	女性のUターン移住の促進のため、女性対策も考えていただきたい。例えば、Uターン奨励金の設立や、キャリア・能力を活かせる職場づくり、働く女性を支援する制度など、そうしたことの早めの対応やいろいろな取組みをやっていただければありがたい。	<p>人づくり8において「企業等における女性の管理職登用や能力開発の促進」「企業や経済団体、関係団体等と連携し、女性が活躍できる職場環境づくりの推進」として記載済み。</p> <p>女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定への支援や女性の活躍状況の見える化、イクボス企業同盟とやまによるネットワークの構築などにより、女性のキャリア・能力を活かせる職場づくりを推進してまいりたい。</p> <p>また、Uターン就職については、活力10「雇用の確保と人材の育成」の【主な施策】の「UIJターンの推進等による人材還流」として記載済み。</p> <p>県では、県外からの優秀な人材のUターン就職を促進するため、産業界と連携して、理工系学生及び薬学部生が県内企業にUターン就職した場合に奨学金の返還を助成している。</p>
----	---------	-------------	--	---